

卷頭言

経済学部長 岩波文孝

駒澤大学経済学部は、1949年4月に商経学部として創設され、2019年度に70周年を迎えました。創設以降、1969年に経済学部にて名称変更するとともに、経済学科と商学科を設置し、2007年には現代応用経済学科を設置し、3学科を擁する学部となっています。2019年12月末現在、経済学部は学生数3,264名（経済学科1,557名、商学科990名、現代応用経済学科714名）、専任教員48名の規模の学部となっています。経済学部は、それぞれの時期・時代における社会的要請を受け止め、教育研究や教学改革に反映させてきました。本号は、教育研究の一環として、経済学部にて企画を進めてきた駒澤大学経済学部70周年記念事業の各種企画の成果を社会に発信するべく『経済学論集』第51巻第4号に取りまとめたものです。

経済学部70周年記念事業として取り組んだ企画を紹介しておきます。協同組合学会との共催事業として大阪市立大学若森みどり先生の特別講演「カール・ポランニート社会連帯経済」の開催、現代応用経済学科ラボラトリ・世田谷区共催シンポジウム「世田谷地域の産業創造とコミュニティビジネス」の開催、現代応用経済学科ラボラトリ創業機運醸成事業「商店街×創業@世田谷」シンポジウムの開催、経済理論学会とのタイアップ企画としてエセックス大学名誉教授 Diane Elson 先生の記念講演「Intersections of Gender and Class in the Distribution of Income ～所得分配におけるジェンダーと階級の交差～」ならびに国際セミナー「フェミニズムと経済」の開催、日中韓国際シンポジウム「変動期東アジアの政治経済学」の開催、経済学部70周年記念シンポジウム「日本経済と金融の将来像」の開催、現代応用経済学科ラボラトリのシンポジウム「アントレプレナー交流会」が開催されました。なお、駒澤大学経済学部現代応用経済学科ラボラトリ企画は、2019年度経済産業

省中小企業庁「創業支援等事業者補助金（創業機運醸成事業）」に採択された創業に関する普及啓発事業（創業機運醸成事業）の一環でもあります。本号では、紙面の都合上、経済学部70周年記念事業の成果の一部を掲載しています。

今後とも駒澤大学経済学部教員は、経済学に求められる現代的課題に向き合い、研究を推進し、得られた研究成果を経済学部教育に還元・反映するとともに、社会に研究成果を発信し、駒澤大学経済学部の発展に寄与していきたいと考えています。